



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,306	6.8	2,092	149.9	2,360	110.0	1,258	127.2
25年3月期第2四半期	76,098	6.5	837	58.3	1,124	52.6	553	51.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,337百万円 (%) 25年3月期第2四半期 702百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.83	
25年3月期第2四半期	2.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	135,383	53,749	39.3
25年3月期	141,154	52,981	37.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 53,262百万円 25年3月期 52,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		6.00	6.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,900	7.9	4,000	48.4	4,400	48.0	8,200	477.7	31.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	270,948,848 株	25年3月期	270,948,848 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	10,572,143 株	25年3月期	10,540,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	260,388,291 株	25年3月期2Q	260,698,621 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
	(継続企業の前提に関する注記)	12
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
	(セグメント情報等)	12
	(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が伸長したことにより、全体では813億6百万円と前年同期実績に比べ52億8百万円(6.8%)の増収となりました。

損益は、売上原価率が上昇したものの、売上高の増収やより効果的な広告宣伝費投入によるコスト低減等により、営業利益は前年同期実績に比べ12億5千5百万円(149.9%)増益の20億9千2百万円、経常利益も前年同期実績に比べ12億3千6百万円(110.0%)増益の23億6千万円となりました。また、四半期純利益につきましても12億5千8百万円と前年同期実績に比べ7億5百万円(127.2%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。詳細は「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照下さい。

<食料品製造事業>

菓子部門

主力ブランドの「ハイチュウ」は定番品や袋タイプの商品が伸長したことにより好調に推移し、「ダース」はコンビネーション商品が好調に推移し前年同期実績を上回りました。発売100周年を迎えた「ミルクキャラメル」は小箱タイプが好調に推移したものの袋タイプが苦戦して「ミルクキャラメル」全体では前年同期実績を下回り、「森永ビスケット」「チョコボール」「小枝」「おととと」は前年同期実績を下回りました。主力ブランド全体で前年同期実績を下回りましたが、1月より販売を開始した「プリングルズ」の売上が加わったこともあり、菓子部門全体の売上高は392億2千5百万円と前年同期実績に比べ28億2千4百万円(7.8%)増となりました。

食品部門

主力ブランドの「ミルクココア」はテレビ番組での健康効果の訴求もあり前年同期実績を上回り、「ケーキミックス」グループも前年同期実績を上回りました。また、熱中症対策をキーワードに夏場の飲用シーンを広げた「甘酒」も好調に推移し、食品部門全体の売上高は50億7千8百万円と前年同期実績に比べ2億6千8百万円(5.6%)増となりました。

冷凍部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、「バニラモナカジャンボ」も大きく伸長しました。また「サンデーカップ」やマルチパック商品も好調に推移したことで、冷凍部門全体の売上高は185億9千7百万円と前年同期実績に比べ15億9千1百万円(9.4%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダー i nゼリー」が夏場限定で発売した「ウイダー i nゼリー エネルギーイン レモン」が好調に推移したことやテレビ広告の効果もあり前年同期実績を上回りました。また、「天使の健康」シリーズの通販事業も「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回ったことで、健康部門全体の売上高は 128 億 6 千 8 百万円と前年同期実績に比べ 5 億 7 千 7 百万円 (4.7%) 増となりました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は 763 億 9 千 9 百万円と前年同期実績に比べ 7.6% 増となりました。セグメント利益は 16 億 9 千 4 百万円と前年同期実績に比べ 12 億 8 百万円の増益となりました。

[主力商品前年同期比 (単位：%)]

菓子部門		食品部門	
ミルクキャラメル	92	ミルクココア	105
森永ビスケット	93	ケーキミックス	102
チョコボール	93	甘酒	129
小枝	75	冷凍部門	
ダース	101	チョコモナカジャンボ	123
ハイチュウ	106	サンデーカップ	114
おととと	93	マルチパック	109
		健康部門	
		ウイダー i nゼリー	103
		おいしいコラーゲンドリンク	115

※表内の数値は国内売上高にて算出

＜食料卸売事業＞

売上高は、31 億 5 千 3 百万円と前年同期実績に比べ 4.9% 減となりました。セグメント利益は 1 億 3 千 1 百万円と前年同期実績に比べて 2 千 6 百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高はゴルフ事業が前年同期実績を上回ったものの、不動産事業が前年同期実績を下回り、事業全体は 14 億 5 千 7 百万円と前年同期実績に比べ 2.5% 減となりました。セグメント利益は 3 億 9 千 9 百万円と前年同期実績に比べ 7 千 6 百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高 2 億 9 千 6 百万円、セグメント利益 9 千 6 百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,353億8千3百万円となり、前連結会計年度に比べ57億7千1百万円減少しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少と固定資産の機械装置及び運搬具が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は816億3千4百万円となり、前連結会計年度に比べ65億3千9百万円減少しております。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金、短期借入金や工事に関する債務が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は2.1ポイント上昇し39.3%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ63億2千万円減少し、30億5千7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は53億1千3百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ12億9千7百万円増加となりました。この主たる要因は、売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は61億6百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は55億6千8百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	167,700	4,100	4,400	7,600
今回修正予想（B）	164,900	4,000	4,400	8,200
増減額（B－A）	△2,800	△100	－	600

第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は主力の食料品製造事業で計画未達となりましたが、広告宣伝費をより効果的に投入したことによるコスト低減等により、損益は、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を上回りました。

通期につきましては、引き続き厳しい市場環境が続くと予想され、売上高は前回予想を下方修正いたします。損益は売上高の下方修正、原材料単価上昇による影響等の費用増を見込んでおり、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成25年11月5日発表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,377	3,257
受取手形及び売掛金	20,176	17,094
商品及び製品	8,200	8,064
仕掛品	465	526
原材料及び貯蔵品	4,086	4,793
繰延税金資産	1,940	2,216
その他	5,144	4,968
貸倒引当金	△16	△14
流動資産合計	50,375	40,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,554	25,446
機械装置及び運搬具(純額)	14,469	19,843
土地	30,313	30,293
その他(純額)	5,206	1,674
有形固定資産合計	75,543	77,257
無形固定資産		
のれん	981	932
その他	510	508
無形固定資産合計	1,491	1,441
投資その他の資産		
投資有価証券	11,912	12,906
繰延税金資産	852	1,088
その他	1,033	1,824
貸倒引当金	△52	△41
投資その他の資産合計	13,744	15,778
固定資産合計	90,779	94,477
資産合計	141,154	135,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,121	15,492
短期借入金	4,763	1,002
未払金	8,814	8,698
未払法人税等	982	1,326
賞与引当金	1,792	2,098
その他	13,146	11,246
流動負債合計	46,620	39,863
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,137	15,151
繰延税金負債	2,826	3,240
退職給付引当金	6,176	6,038
役員退職慰労引当金	107	95
資産除去債務	127	128
受入敷金保証金	6,595	6,498
その他	581	617
固定負債合計	41,553	41,770
負債合計	88,173	81,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	15,840	15,536
自己株式	△2,522	△2,529
株主資本合計	49,117	48,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,633	4,304
繰延ヘッジ損益	96	56
為替換算調整勘定	△272	95
その他の包括利益累計額合計	3,457	4,455
少数株主持分	405	487
純資産合計	52,981	53,749
負債純資産合計	141,154	135,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	76,098	81,306
売上原価	38,636	42,005
売上総利益	37,462	39,301
販売費及び一般管理費	36,625	37,208
営業利益	837	2,092
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	273	245
持分法による投資利益	5	12
その他	271	273
営業外収益合計	555	534
営業外費用		
支払利息	133	100
その他	134	166
営業外費用合計	268	266
経常利益	1,124	2,360
特別利益		
固定資産売却益	282	19
投資有価証券売却益	4	313
特別利益合計	287	332
特別損失		
固定資産除売却損	293	257
減損損失	93	218
その他	—	138
特別損失合計	386	614
税金等調整前四半期純利益	1,024	2,078
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,249
法人税等調整額	△524	△439
法人税等合計	547	810
少数株主損益調整前四半期純利益	477	1,268
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△76	10
四半期純利益	553	1,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	477	1,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,167	653
繰延ヘッジ損益	△74	△41
為替換算調整勘定	65	439
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	16
その他の包括利益合計	△1,179	1,068
四半期包括利益	△702	2,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△648	2,256
少数株主に係る四半期包括利益	△54	81

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,024	2,078
減価償却費	2,675	3,210
減損損失	93	218
のれん償却額	52	49
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△119	△138
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	307	305
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△14
受取利息及び受取配当金	△278	△248
支払利息	133	100
持分法による投資損益(△は益)	△5	△12
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△313
固定資産売却損益(△は益)	△237	47
固定資産除却損	248	190
売上債権の増減額(△は増加)	△2,022	3,135
たな卸資産の増減額(△は増加)	△431	△550
仕入債務の増減額(△は減少)	941	△1,682
その他の流動資産の増減額(△は増加)	458	△300
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△15	16
未払金の増減額(△は減少)	1,479	△127
その他の流動負債の増減額(△は減少)	484	216
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△84	△96
その他	△21	△3
小計	4,674	6,069
利息及び配当金の受取額	278	248
利息の支払額	△135	△115
法人税等の支払額	△800	△888
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,016	5,313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,500	—
有形固定資産の取得による支出	△2,603	△6,815
有形固定資産の売却による収入	563	358
無形固定資産の取得による支出	△12	△18
無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	5	559
関係会社株式の取得による支出	—	△34
貸付金の回収による収入	0	—
その他	△74	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	378	△6,106

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△482	△792
長期借入金の返済による支出	△117	△3,003
自己株式の取得による支出	△44	△6
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	△1,564	△1,562
少数株主への配当金の支払額	△6	—
その他	△203	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,416	△5,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,986	△6,320
現金及び現金同等物の期首残高	4,802	9,377
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	896	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,684	3,057

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	71,008	3,314	1,494	75,817	280	76,098	—	76,098
セグメント間の内部売上高	461	336	135	933	428	1,361	△1,361	—
計	71,470	3,650	1,630	76,751	708	77,460	△1,361	76,098
セグメント利益	486	105	475	1,067	88	1,156	△319	837

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △319百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △208百万円、のれん償却額 △52百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	76,399	3,153	1,457	81,010	296	81,306	—	81,306
セグメント間の内部売上高	436	374	314	1,125	621	1,746	△1,746	—
計	76,835	3,527	1,771	82,135	917	83,053	△1,746	81,306
セグメント利益	1,694	131	399	2,225	96	2,322	△229	2,092

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △229百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △187百万円、のれん償却額 △49百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業の内容等を勘案した結果、米国森永製菓(株)を「食料卸売」セグメントから「食料品製造」セグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
減損損失	218	—	—	—	—	218

(重要な後発事象)

(インドネシア合弁会社(子会社)の設立)

当社は、平成25年5月8日開催の取締役会において、インドネシアで、同国市場にブランド及び流通網を所有する、PT. Kinosentra Industrindo 社のオーナーである Mr. Harry Sanusi 及び Mr. Harris Sanusi と新規に合弁会社を設立することを決議し、同年10月18日付で資本の払込を完了致しました。

1. 設立の目的

当社グループの海外戦略として重点エリアと位置付けている東南アジアエリアにて、事業開始と市場参入を早期に実行し、かつ、中近東などに向けた生産拠点の役割を担う海外事業の戦略的生産拠点とすることを目的としております。

2. 設立する会社の名称、事業内容、規模

- ① 名称 PT. Morinaga Kino Indonesia
- ② 事業内容 菓子、粉ジュース等の製造・販売
- ③ 規模 資本金 142,857 百万ルピア (約 12 億円)

3. 合弁会社の事業譲受け相手先の概要

- ① 名称 PT. Kinosentra Industrindo
- ② 所在地 インドネシア共和国 ジャカルタ市
- ③ 代表者名 Mr. Harry Sanusi (Komisaris)
Mr. Harris Sanusi (President Director)
- ④ 事業内容 キャンディ、スナック、粉ジュース等の製造・販売
- ⑤ 規模 売上高 564,000 百万ルピア (約 49 億円)
- ⑥ 設立年 1997 年

4. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ① 取得する株式の数 72,857 株
- ② 取得価額 420,750 百万ルピア (約 36 億円)
- ③ 取得後の持分比率 当社 : 51%

PT. Kinocare Era Kosmetindo(※)及び Mr. Harris Sanusi : 49%

※なお、出資者については前事業年度末の重要な後発事象で開示した Mr. Harry Sanusi から同氏のオーナー会社である PT. Kinocare Era Kosmetindo に変更になっております。

(固定資産の譲渡)

当社は、平成25年6月末をもって操業停止した兵庫県尼崎市の塚口工場跡地（一部を除く）の固定資産を同年10月30日に譲渡致しました。これに伴い、平成26年3月期第3四半期連結会計期間において特別利益として固定資産売却益約89億円を計上する見込みであります。

固定資産譲渡の内容

譲渡先	譲渡資産の種類	譲渡前の用途	譲渡価額
株式会社長谷工コーポレーション	土地・建物 (当社)	菓子の製造	118億円